

マテリアリティ（重要課題）の特定

株式会社ヤマタネ

1.マテリアリティ特定プロセス

STEP 1

課題候補リストの作成

ISO26000、SASB などの国際規格や ESG 評価機関の評価項目、SDGs に加え、ヤマタネの経営課題、所属業界の課題をもとに課題候補を抽出

STEP 2

セグメントごとにマテリアリティを抽出し、重要度の判定

課題候補リストをもとにセグメント単位のバリューチェーンにおける課題の洗い出しを実施

抽出した課題を自セグメントの重要度と社会的重要度を判定して、両方の重要度が高いものを各セグメントのマテリアリティとして特定

STEP 3

ヤマタネグループのマテリアリティを特定

経営企画部で各セグメントのマテリアリティを取りまとめ、経営会議及び取締役会での審議の上、ヤマタネグループのマテリアリティを特定



マテリアリティ（重要課題）

- ・ 温室効果ガス排出量削減
- ・ 廃棄物及び有害物質の管理
- ・ エネルギー使用量の削減
- ・ 差別防止及び社会的弱者への配慮
- ・ 安全衛生の推進
- ・ 女性活躍を含む多様な人財の活躍推進
- ・ 人財育成及び教育
- ・ 安全安心な商品・サービスの提供
- ・ コミュニティへの参画及び発展への寄与
- ・ 個人情報保護及び高度なデータセキュリティ
- ・ 生産性向上による働き方改革
- ・ 持続可能な材料調達と効率的な使用
- ・ リスクマネジメント
- ・ 適正な情報開示

2. 取組み重点テーマ

<p>○環境に配慮した事業活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 温室効果ガス排出量削減 ・ エネルギー使用量の削減 ・ 廃棄物及び有害物質の管理 	<p>○製品・サービスの品質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全衛生の推進 ・ 安全安心な商品・サービスの提供 ・ 個人情報保護及び高度なデータセキュリティ ・ リスクマネジメント
<p>○人財の多様性と活躍の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 差別防止及び社会的弱者への配慮 ・ 生産性向上による働き方改革 ・ 人財育成及び教育 ・ 女性活躍を含む多様な人財の活躍推進 	<p>○地域コミュニティ及び生産地と農業の発展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティへの参画及び発展への寄与
<p>○持続可能なコメの調達の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 持続可能な材料調達と効率的な使用 	<p>○コーポレート・ガバナンスの深化 (健全性の確保・効率化の追求・透明性の向上・再現性の堅持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リスクマネジメント ・ 適正な情報開示

	取組み概要	SDGs
E	<p>環境に配慮した事業活動の推進</p> <p>各拠点でのエネルギー使用量の削減と再生可能エネルギーの使用を積極的に促進していきます。印西新拠点ではソーラーパネルや環境負荷の低い設備の導入、排出物のリサイクル化を実現します。また、配送車両については環境負荷の低い車両の導入を促進していきます。</p>	    
	<p>製品・サービスの品質向上</p> <p>お客様へ安全安心な商品・サービスを提供することを最重要課題とし、各種取組みを推進しております。物流サービスや精米工場においては各種認証（ISO9001やSQFなど）に基づく運用による品質向上の取組み、事故削減や労働環境の整備を進めます。また、リスクマネジメントの取組み強化により、リスク低減及び予防に努めます。</p>	
S	<p>人財の多様性と活躍の促進</p> <p>体系的な人財教育プログラムの拡充を進めるとともに、生産性向上と働き方の多様化・変化に対応する規定の整備により多様な人財の活躍する場を創出していきます。</p>	    
	<p>地域コミュニティ及び生産地と農業の発展</p> <p>コメ生産地との連携事業の一環として、産地銘柄のブランド化などを進め、地域産業の発展に寄与していきます。また、地域コミュニティの一員として不動産開発や文化事業等を通じて地域社会への貢献にも取組みます。</p>	   
	<p>持続的なコメの調達の推進</p> <p>消費地のニーズを捉え、生産地も豊かにできるような取組みを進めることで持続的なコメの調達と市場への安定的な供給を推進します。</p>	  
G	<p>コーポレートガバナンスの深化 (健全性の確保・効率化の追求・透明性の向上・再現性の堅持)</p>	
	<p>コーポレート・ガバナンスの深化に取組み、経営の健全性・効率性・透明性・再現性を向上させることにより、持続的な企業価値の向上を実現します。具体的には独立性の高い取締役会運営を進め、適切なリスクテイクと確実なリスク管理の下で、迅速・果敢な業務執行に努めます。また、適時・適正な情報開示を継続し、ステークホルダーの皆様との対話を深めます。</p>	